

令和5年度 常葉大学 教職課程の自己点検・評価報告書

通番	大項目	中項目	観点	令和5年度 対応状況	根拠資料	点検・評価結果
1	教育理念・学修目標	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか等	本学のホームページ「情報公開」ページの「教職課程の教育情報」の「Ⅰ 教員養成の目標及び目標を達成するための計画」において、具体的かつ明確な形で設定されている。	1-1 ホームページ「教職課程の教育情報」/ 「Ⅰ 教員養成の目標及び目標を達成するための計画」	適切である
2		教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性の考慮が行われているか 等	ガイダンス等で教職履修者に対して、本学の「教員養成の目標及び目標を達成するための計画」と「静岡県教員育成指標」、「静岡市教員育成指標」、「浜松市教員育成指標」の採用時（着任時・養成期）について示し、関係性の考慮を行っている。	1-1 ホームページ「教職課程の教育情報」/ 「Ⅰ 教員養成の目標及び目標を達成するための計画」 1-2 静岡県教員育成指標 1-3 静岡市教員育成指標 1-4 浜松市教員育成指標	適切である
3		教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果（以下「学修成果」という。）や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか等	教職履修カルテ、授業評価アンケート、指導教員との事前事後指導、教育実習反省会等や教職科目等の見直し、新たな教育施策等の変化があった場合に教員養成カリキュラム委員会、教育実習委員会、教職支援センター等で目標と計画の見直しを行っている。	1-1 ホームページ「教職課程の教育情報」/ 「Ⅰ 教員養成の目標及び目標を達成するための計画」	適切である
4	授業科目・教育課程の編成実施	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか 等	共通開設については、学校教育課程における「教育の基礎的理解に関する科目等」の小と中高との共通開設。静岡キャンパスの開放制学科の生涯学習学科、英米語学科、造形学科、経営学科、社会環境学科における「教育の基礎的理解に関する科目等」の共通開設。浜松キャンパスの開放制学科の経営学科、健康栄養学科、心身マネジメント学科における「教育の基礎的理解に関する科目等」の共通開設。いずれも適切に行われている。	1-1 シラバス	適切である
5		教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	ICT(情報通信技術)環境(オンライン授業含む)、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか 等	教職課程教育を行う上での施設・設備については、講義室、演習室、栄養実習室、音楽室、図画工作室、体育室、ピアノレッスン室、子育て支援室、コンピュータ演習室をキャンパスに設置し、各教室にはプロジェクタやスクリーンを配備している。また、学内Wi-Fiを利用することで、リアルタイムでのファイル配信やライブアンケートの実施といったICTの活用も可能となっている。静岡草薙キャンパスは、2,320.36㎡の面積の図書館を有している。令和5年3月31日時点で蔵書数18万点超、視聴覚資料4900点、閲覧席533席を備え、教職課程における教科・教職科目の学修に十分な資料を用意している。図書館に併設されたKNOWLEDGE SQUAREは、グループスタディエリアとグループワークエリアで構成されており、学生・教職員の学修、教育、研究を行う支援の場として活用されている。グループスタディエリアには、20席のエリアが5つありグループ単位、クラス単位での利用が可能である。グループワークエリアでは発表等で使用するプロジェクタ、パソコン、スクリーン貸し出しのほか、ポスターサイズの印刷もできる大判プリンタも設置している。浜松キャンパスは、1185㎡の面積の図書館を有している。令和5年3月31日時点で蔵書数18万点超、電子書籍805点（動画含む）、視聴覚資料3900点、閲覧席223席を備え、中学校・高等学校の教科書、学習指導要領、教職分野の図書・雑誌等の教職課程における教科・教職科目の学修に必要な資料を用意している。また、当館で所蔵していない資料でも他機関からの貸借・文献取寄せ、契約データベースの利用等で対応し、学修や研究の支援を行っている。図書館内に設置されたグループ研修室は、少人数対応ではあるが2室あり、学生・教職員の学修、教育を行う支援の場として活用されている。	1-1 学生便覧 1-2 教室設備一覧 1-3 ホームページ「キャンパス案内」	適切である
6		教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか 等	目標達成計画に基づき、授業科目を開設し再課程認定審査（平成30年度）を受け、その後の変更についても適切に変更届を提出し、法令及び必要な授業科目が開設されている。 教職科目とそれ以外の科目との関連性については、各学科のカリキュラムマップ、ナンバリングから適切と確認できる。	1-1 ホームページ「教職課程の教育情報」 1-2 ホームページ「カリキュラムマップ、ナンバリング」 1-3 教職課程変更届	適切である
7		ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要なICT活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっているか 等	本学では、「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」を卒業必修として開設しICTスキルを身につけさせている。静岡市公立学校等で使用しているクロームブックを50台（内：浜松キャンパス10台）保有し、模擬授業等で活用できるよう貸出しを行っている。各教科教育法で時代に即したICTを活用した授業の充実を図っていく。	1-1 シラバス	適切である
8		いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか 等	履修規程 第5条第1項において、1年間に履修登録できる単位数の上限を定め、単位の厳格化を図っている。また、同第6条において、履修登録の上限緩和についても定められている。	1-1 学生便覧「常葉大学 履修規程」	適切である
9		教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか 等	教職支援センター運営委員会および教員養成カリキュラム委員会、教育実習委員会等において学習成果や自己点検・評価の結果を踏まえて適切な見直しを行っていく予定である。	1-1 ホームページ「学生による授業アンケート集計結果」	適切である

令和5年度 常葉大学 教職課程の自己点検・評価報告書						
通番	大項目	中項目	観点	令和5年度 対応状況	根拠資料	点検・評価結果
10	授業科目・教育課程の編成実施	個々の授業科目の到達目標の設定状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか等	シラバス作成依頼時に次の点について留意させている。 ・教職科目(教科の指導法含む)については、教育職員免許法施行規則等に規定されている必須事項を含めるとともに「教職課程コアカリキュラム」に基づいてシラバスを作成すること。 ・中・高の教員免許状の「教科に関する専門的事項」に関わる免許必修科目については、一般的包括的な内容を含む授業科目としてシラバスの内容を作成すること。 ・「外国語(英語)コアカリキュラム」および「特別支援学校教諭免許状コアカリキュラム」対象科目は、それぞれのコアカリキュラムに基づいてシラバスを作成すること。	1-1 教職科目のシラバス作成上の留意点 1-2 教職課程コアカリキュラム 1-3 外国語(英語)コアカリキュラム 1-4 特別支援学校教諭免許状コアカリキュラム	適切である
11		シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等が明確に 記載されているか等	シラバスには、授業の概要、授業の目的、授業の到達目標、卒業認定・学位授与の方針との関連性、授業の計画と内容、教科書、参考書・参考資料、成績評価の方法、成績評価の基準、フィードバックの方法、授業時間外学修、実務経験のある教員の授業内容、その他が明確に記載されており、第3者におけるシラバスチェックも実施している。	1-1 シラバス作成要領／シラバスチェックについて 1-2 シラバス	適切である
12		アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか 等	多くの授業において、授業科目の到達目標に応じ、アクティブ・ラーニングやICTを活用し、多様な学修方法を取り入れるようにしている。	1-1 シラバス	適切である
13		個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか 等	学生による授業アンケート集計結果により各授業担当者がコアカリキュラムに基づいて見直している。	1-1 ホームページ「学生による授業アンケート集計結果」	適切である
14		教職実践演習及び教育実習等の実施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか 等	教育実習については、教育実習委員会が中心となり、事前ガイダンス、事前事後指導、教育実習の立ち合い指導、実習体験報告会等を実施している。 教職実践演習については、4年次後期に履修カルテ等を基に実践的な授業を実施している。	1-1 各教育実習ガイダンス資料 1-2 教職実践ガイダンス資料 1-3 シラバス	適切である
15	学修成果の把握・可視化	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか 等	授業科目の成績評価(単位認定)は、シラバスの「成績評価の方法」、「成績評価の基準」に沿って行われ、その評価方法や基準は各授業担当教員によって異なる。原則として、平常の授業成績及び試験・レポートなどの成績、出欠状況などを総合して、成績評価規程第3条に定める表の基準で評価されることを学生便覧に記載し、適切に公表している。	1-1 シラバス 1-2 学生便覧(成績評価(単位認定)) 1-3 学生便覧(常葉大学 成績評価規程)	適切である
16		成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか 等	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合、シラバスを統一シラバスとし、成績評価の平準化を図っている。	1-1 シラバス	適切である
17		教員の養成の目標の達成状況(学修成果)を明らかにするための情報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されており、それがどの程度達成されているか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活用できているか 等	教員養成の目標の達成状況を明らかにするために、本学ホームページの「教職課程の教育情報」で「Ⅳ 卒業者の教員免許状の取得状況及び教員への就職状況」を公表している。 各学年の年度末に教職実践ガイダンスを実施し、その中で振り返り含め、履修カルテ(自己評価シート)を提出させ、4年時の教職実践演習に向けて活用している。	1-1 ホームページ「教職課程の教育情報」/ 「Ⅳ 卒業者の教員免許状の取得状況及び教員への就職状況」	適切である
18		成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか 等	各授業科目のシラバスで「授業の到達目標」、「卒業認定・学位授与の方針との関連性」等に合わせた「成績評価の基準」を示し、「成績評価の方法」を具体的に記述している。成績評価に際しては、「成績評価に関する取り扱い」に示すガイドラインに基づき、授業の目的や目標を踏まえ、学生の学修成果を厳格に評価して単位を認定している。	1-1 シラバス 1-2 成績評価に関する取り扱い	適切である
19	教職員組織	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定)で定められた必要専任教員数を充足しているか 等	教職課程認定基準で定められた必要な教職専任教員数を充足している。	1-1 ホームページ「教職課程の教育情報」/ 「Ⅱ 教員組織及び教員情報」 1-2 教職課程変更届	適切である
20		教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校現場等での実務経験の状況 等	教職課程認定基準を踏まえ、科目を担当するにあたり十分な教育研究業績を有する教員および現場経験のある教員を厳選に配置している。	1-1 ホームページ「教職課程の教育情報」/ 「Ⅱ 教員組織及び教員情報」	適切である

令和5年度 常葉大学 教職課程の自己点検・評価報告書

通番	大項目	中項目	観点	令和5年度 対応状況	根拠資料	点検・評価結果
21	教職員組織	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか 等	「学校法人常葉大学 組織規程」に基づき、教務部に静岡草薙キャンパスは、教職支援センターおよび幼児教育支援センター、浜松キャンパスは、浜松教務課を置き、教職課程を適切に実施するための事務職員を配置している。	1-1 常葉大学・大学院 運営(教学マネジメント)組織図 1-2 学校法人常葉大学 組織規程	適切である
22		FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか等	本学の教育・研究活動等の適切かつ効果的な運営を図り、「主役は学生」の大学運営を推進するため、教職員が必要な知識及び技能を習得し、能力及び資質の向上を図るためのSD研修(スタッフ・ディベロップメント)と授業の内容及び方法の改善を図るためのFD研修(ファカルティ・ディベロップメント)を、各学部・研究科の専門性を踏まえ、全7回のFD・SD研修会を実施している。	1-1 FD・SD委員会 全学共通・学部学科研修会 年間計画	適切である
23		授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか 等	前期、後期にそれぞれ「授業アンケート」を授業改善や学生の学習状況の把握のため、個別の授業についてのQRコードによるWebで回答する形態の「授業アンケート」を実施している。	1-1 ホームページ「学生による授業アンケート集計結果」	適切である
24	情報公表	学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えているか 等	本学のホームページ「情報公開」ページに、学校教育法施行規則第172条の2、教育職員免許法施行規則第22条の6定められた「教育情報の公表」および「教職課程の教育情報」の情報を公表している。	1-1 ホームページ「情報公開」	適切である
25		学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか 等	教員養成の目標の達成状況を明らかにするために、本学ホームページの「教職課程の教育情報」で「Ⅳ 卒業者の教員免許状の取得状況及び教員への就職状況」を公表している。 教員採用試験合格率50%以上、保育教諭就職者数全国1位	1-1 ホームページ「教職課程の教育情報」/ 「Ⅳ 卒業者の教員免許状の取得状況及び教員への就職状況」 1-2 大学案内(GUIDE BOOK)	適切である
26		教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか	わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表できるよう、根拠となる資料やデータ等の収集に努めていく。	1-1 ホームページ「点検・評価報告書」	適切である
27	教職指導(学生の受け入れ・学生支援)	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか 等	教員養成を主たる目的とする学校教育課程、保育学科、こども健康学科では、HP、「大学案内」、「入試ガイド」、「学生募集要項」等、印刷媒体及び入試説明会、オープンキャンパス等を通じて、志願者に求める資質・能力(アドミッション・ポリシー)を公開している。 開放制の学科は、新入生ガイダンス、1年次の4月と9月にエントリーガイダンスを実施し、教員養成の目標等について説明の上、履修希望者を募集している。	1-1 ホームページ 1-2 大学案内(GUIDE BOOK) 1-3 入試ガイド 1-4 学生募集要項	適切である
28		学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか 等	教員養成を主たる目的とする学校教育課程、保育学科、こども健康学科では、学科内および各ガイダンスで学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えている。開放制の学科は、学科内の教職担当教員および各学年の教職実践ガイダンスの中で履修指導を行っている。 また、各学年の年度末に1年の振り返りを含め、履修カルテ(自己評価シート)を提出させ、4年時の教職実践演習に向けて活用している。	1-1 教職実践ガイダンス資料	適切である
29		学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか 等	小・中高・特支等を目指す学生に対しては、教職支援センターが、教員免許状取得および教員採用試験合格に向けて支援を行っている。教職特別指導では、教員採用試験に向けて、学習会や面接指導等、きめ細かな支援をしている。 幼稚園・子ども園を目指す学生に対しては、幼児教育支援センターが、教員免許状取得および採用試験合格に向けて支援を行っている。公立、私立採用試験に向けた相談や面接指導等の具体的なきめ細かな支援を行なっている。 浜松キャンパスにおいても上記同様のきめ細かな支援を浜松教務課、浜松キャリア支援課、教職担当教員等で行っている。	1-1 ホームページ(教職支援センター) 1-2 ホームページ(幼児教育支援センター) 1-3 教員採用試験対策講座 1-4 学習会	適切である
30	関係機関等の連携	教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか 等	11月、2月の2回にわたり静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会を招いて「教員採用試験ガイダンス」を実施。静岡市教育委員会による「学生スクールボランティア」についての説明会を実施。授業実践演習や教職実践演習の授業に教育関係者を招聘している。 また、教職大学院があることから各教育委員会や研究会での交流が盛んである。	1-1 教員採用試験ガイダンス資料 1-2 シラバス	適切である

令和5年度 常葉大学 教職課程の自己点検・評価報告書

通番	大項目	中項目	観点	令和5年度 対応状況	根拠資料	点検・評価結果
31	関係機関等の連携	教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができているか、学校体験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか 等	教育実習は、附属幼稚園および附属小学校、県内の多くの協力校の協力のもとに立会い教員の実習先への挨拶、実習中の立会い等を通じて連携して実施している。幼稚園実習に関しては、年1度「園・施設との協議会」を開催して、実習に関する意見交換会を実施している。 また、子どもたちの理解や教員としての力量の向上のため、教職支援センターでは、学習ボランティアの紹介および推奨を積極的に行っている。幼児教育支援センターも子どもと関わるボランティアの紹介や自主実習の推奨を行っている。	1-1 教育実習実施要項	適切である
32		学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができているか 等	授業実践演習や教職実践演習、教育実習事前指導等多くの授業やガイダンスに教育関係者をゲストスピーカーとして招聘している。 また、教職大学院では県内の現職教員が学んでいるため、学部生の授業でゲストスピーカーとして講和をお願いしている。	1-1 シラバス	適切である